

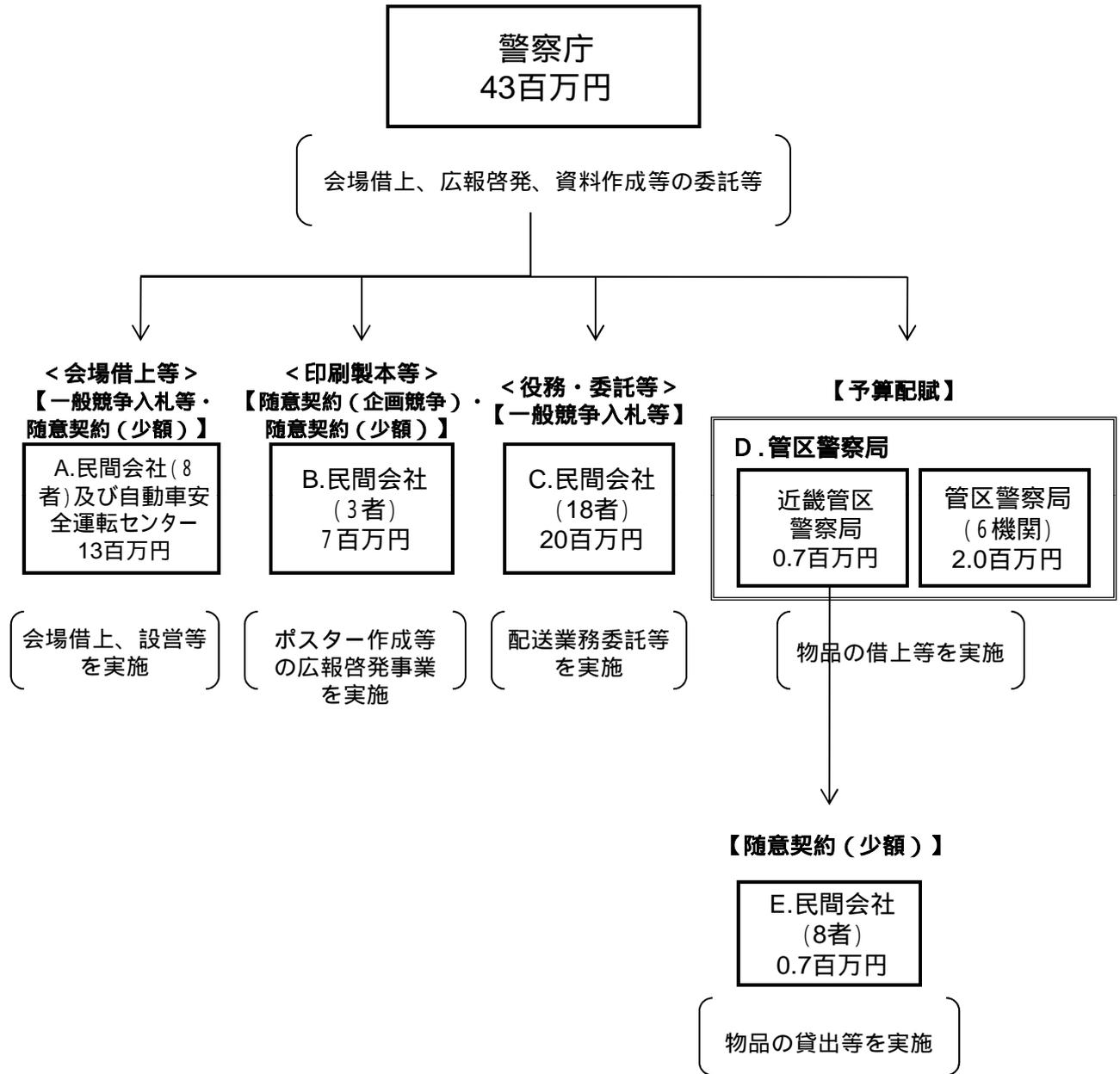
# 行政事業レビューシート サブシート

事業番号 当初 5 - 12

<b>予算事業名</b>	広報啓発、白バイ大会経費等	<b>事業開始年度</b>	-			<b>作成責任者</b>	
<b>担当部局</b>	警察庁	<b>担当課室</b>	交通企画課			交通企画課長 入谷 誠	
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>上位事業</b>	交通警察				
<b>根拠法令</b> (具体的な 条項も記載)	-	<b>関係する計 画、通知等</b>	-				
<b>事業概要</b> (5行程度以内)	交通の安全と円滑を確保するために必要な施策に関する広報啓発事業を実施しているほか、各種大会開催、資料作成等の事業を実施している。						
<b>実施状況</b>	平成21年度においては、ポスターやチラシ等を活用した広報啓発事業を実施したほか、白バイ安全運転競技大会や交通安全国民運動中央大会等の開催、免許更新時講習用映画の作成等を実施した。						
<b>予算の状況</b> (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)	251	431	63	771	221	
	執行額	229	408	43	/	/	
	執行率	91%	95%	68%	/	/	
	総事業費(執行ベース)	229	408	43	/	/	
<b>自己点検</b> (使途の把握水 準や見直しの余 地等)	本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 本事業は、交通の安全と円滑を確保するという交通警察活動の目的を達成するため、引き続き実施する必要がある。 本実施にあたっては、一般競争入札等を行っており、今後も競争性の高い契約の実施に努めることとしている。						
<b>資金の流れ / 費目・使途</b>	別紙のとおり			A. 自動車安全運転センター			
				費目	使途	金額 (百万円)	
				借上費	会場借上	7	
				計	/		7

(別紙)

「広報啓発、白バイ大会経費等」  
資金フロー図



【A. 上位10者の支出先】					
支出先	内容	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
自動車安全 運転センター	会場借上	7			
(株)ダスキン	大会運営	3			
本田技研工 業(株)	車両整備等	2			
(株)本田モ ーターサイクルジャパ ン	車両修繕	1			
B. 山菊印刷株式会社			【B. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
印刷費	ポスター等の印刷	3	山菊印刷 (株)	ポスター等の印刷	3
			東京リストマッ ク(株)	ポスター等の印刷	2
			東京法令出 版(株)	チラシの印刷	2
計		3			
C. 日本通運株式会社			【C. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
人件費等	配送業務委託	5	日本通運 (株)	配送業務委託	5
			(株)共映	視聴覚映像製作	3
			(株)千代田 ビデオ	視聴覚映像製作	3
			(株)東芸スタ ジオ	吊看板等製作他(中央大会用)	1
計		5			

Aブロック以外の  
支出先等  
(1枚目に収ま  
らない場合)

支出先	内容	金額 (百万円)	支出先	内容	金額 (百万円)
D. 近畿管区警察局			【D. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
予算配賦	物品の借上等に要する経費	0.7	近畿管区	予算配賦	0.7
			関東管区	予算配賦	0.6
			中部管区	予算配賦	0.5
			四国管区	予算配賦	0.3
			中国管区	予算配賦	0.2
			九州管区	予算配賦	0.2
			東北管区	予算配賦	0.2
計		0.7			
E 小山株式会社			【E. 上位10者の支出先】		
費目	使 途	金額 (百万円)	支出先	内 容	金額 (百万円)
物品借料等	寝具賃貸借料	0.4	小山(株)	寝具借り上げ	0.4
			(株)ぎょうせい	執務関係資料購入	0.1
計		0.4			

Aブロック以外の  
の支出先等  
(1枚目に収ま  
らない場合)

# 自動車安全運転センターについて

## 法人概要

### 概要

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」（昭和50年法律第57号）に基づいて、自動車の安全運転研修の実施、ドライバーの運転経歴に係る資料及び交通事故に関する資料の提供並びにこれらに関する調査研究などを行うことにより、交通事故等の防止及び運転者等の利便の増進に資するため、国家公安委員会によってその設立を認可された法人

### 沿革

- ・ 昭和50年 自動車安全運転センター法の制定、センター設立
- ・ 平成3年 安全運転中央研修所開所
- ・ 平成15年 民間法人化（自動車安全運転センター法の一部改正）

## 業務内容

### 安全運転研修業務

自動車の運転について高度な技能及び知識を必要とする運転者及び運転指導者、地域・職域等における交通安全教育の中核的指導者並びに青少年運転者等に対して、実践的、専門的かつ高度な安全運転技能・知識の研修を行うことにより、資質の高い運転者及び運転指導者を育成し、交通安全についてのレベルアップを図る業務。  
（平成20年度研修人員 14,647人（延べ58,684人日））

### 累積点数通知業務

交通違反者の更なる違反・事故を防止するため、道路交通法令に違反したことにより運転免許の効力の停止を受ける直前の累積点数に達した者に対して、その旨を書面で通知する業務。  
（平成20年度通知件数 1,068,264件）

### 運転経歴証明業務

事業所における安全運転管理、優良運転者の就業促進等に資することにより交通事故の防止を図るため、運転者の求めに応じて、無事故・無違反、運転記録、累積点数、運転免許経歴の各証明書を交付する業務。  
（平成20年度交付件数 4,812,464件）

### 交通事故証明業務

各種損害賠償保険の請求において活用される交通事故の証明書類として、当事者の求めに応じて、交通事故の発生日時、当事者の住所・氏名等を記載した交通事故証明書を交付する業務。  
（平成20年度交付件数 3,425,820件）

### 調査研究業務

研修施設や研修指導員の知見等を活用し、安全運転に係る技能、安全運転管理の方法等について調査研究を行う業務。

# 全国白バイ安全運転競技大会について

## 大会の開催の目的・効果

**目的** 全国の白バイ乗務員の安全運転技能の向上  
全国の白バイ乗務員の士気の高揚 等

**効果** 出場選手は各県警察等の白バイ乗務員の指導者として後輩の指導育成に従事  
白バイ乗務員の殉職・受傷事故防止

## 第41回大会（平成21年）の概要

**実施期日** 平成21年10月10日（土）から11日（日）の2日間  
**実施会場** 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所  
**競技種目** バランス走行操縦競技、トライアル走行操縦競技  
不整地走行操縦(モトクロス)競技、傾斜走行操縦(スラローム)競技  
**出場選手** 全国の白バイ乗務員 男性150名、女性36名

## 第41回大会に係る契約状況等

**会場借上げ等 契約額 約7百万円**

- ・ 会場借上げ並びに会場内看板の設置等及び競技コースの設計・設営等の業務等
- ・ 随意契約（公募） 契約先は、自動車安全運転センター
- ・ 同センターのみから受託の意思ある旨の文書回答が提出

**車両整備等 契約額 約2百万円**

- ・ 大会で使用する車両の整備業務及び車両の一部の借上げ
- ・ 随意契約（公募） 契約先は、本田技研工業株式会社
- ・ 同社のみから受託の意思ある旨の文書回答が提出

**会場運営業務 契約額 約3百万円**

- ・ 資器材設置等、駐車場案内、受付・案内、救護員の配置と救護等の業務
- ・ 一般競争入札 契約先は、株式会社ダスキン（落札者、3者が応札）